



町のわだい

今月の題字 城間 たいが 大芽さん（山田小6年）

「山田パドルフェス」に600人 マリンスポーツを堪能

7月29日、浦の浜海水浴場で「山田パドルフェス」が行われ、訪れた親子連れや若者ら約600人が、マリンスポーツや「ガチャ釣り大会」などの催しを堪能しました。マリンスポーツ体験会では、参加者らがシーカヤックやスタンドアップパドルボードなどに乗り、付近の海上を周遊。迫力満点のパナポートに乗った子どもたちからは、大きな歓声が上がっていました。砂浜で行われた「ガチャ釣り大会」は、プールに浮かんだカプセルを釣り上げ、入っている番号札で景品が決まるゲーム。見事、景品を獲得した子どもたちは満足げな表情を浮かべていました。



不来方高校「ふれあいコンサート」 美しい歌声で町民を魅了

県立不来方高校（清川^{よしひこ}義彦校長、生徒779人）音楽部による「ふれあいコンサート」が、8月5日に中央公民館で開かれ、振り付けを交えながらの力強く美しい歌声が来場者約240人を魅了しました。同コンサートは、震災直後から被災地を励まそうと行われているもので、今年で11回目の来町公演。ステージでは「山田町民歌」や「花は咲く」、「ふるさと」など22曲が披露され、観客らは時折歌詞を口ずさんだり、軽快なリズムに手拍子で応えたりするなど、心にも響き渡る励ましの歌声に聞き入っていました。

第17回やまだの花火大会 夏の夜空に5千発の華が咲く

8月15日、山田の夏の風物詩となった商工会青年部（阿部^{かつひさ}佳津久部長）主催の「第17回やまだの花火大会2023」が、今年も盛大に開催されました。山田魚市場隣接の特設会場では、午後2時からミュージシャンやダンサーによるステージ、大槌城山虎舞の演舞などが行われ、イベントを盛り上げました。午後7時からは、待ちに待った花火の打ち上げ。音楽に合わせて約5千発の花火が打ち上がると、会場に集まった人たちは、空から降ってくるような大輪と体の芯まで響く音の迫力に包まれながら、花火が上がるたびに歓声を上げていました。

